

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30年3月5日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470102769		
法人名	有限会社 美泉		
事業所名	グループホームよってきんさい矢野		
所在地	〒736-0085 広島市安芸区矢野西5丁目18-30 (電話) 082-889-6400		
自己評価作成日	平成30年1月27日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=3470102769-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年2月23日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

ホームの横には公園があり、散歩や近所の方との交流の場として使わせて頂いている。地域の一員として町内会に加入し、今年度は組長をさせて頂いている。利用者様に毎日を生き活きと過ごして頂けるよう、食事作りや掃除、洗濯、買い物など一人ひとりが得意とすることを一緒に行い、できる事の継続に努めている。開設当初より、家庭医や看護師と協力し看取りを行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

平成14年4月開設の事業所で定員は6名である。事業所は閑静な住宅街の中にあり、近隣にJRの駅があり交通の便も良い。近所の神社や公園は、地域住民や保育園の子供達との交流の場になっている。また、町内会にも加入しており、清掃活動・行事・回覧板等、利用者と共に地域の一員としての役割も担っている。散歩や町内会の活動等を通じて、日常的に地域との交流を継続し良好な関係を築いている。

協力医療機関と連携し看取りまでの支援が可能で、終末期には医師と直接面談し今後の方向性を検討している。日常生活では、「相互扶助」の考え方を基本とし「調理・掃除・洗濯」等、利用者の役割を大切にしている。また、法人のスケールメリットを活かし、研修や人員等のサポート体制を整えており、職員が安心して働くことのできる事業所である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	有限会社美泉を設立当初よりの理念をもとに事業所独自の目標をたて、日々実践につなげている。	法人の理念を事業所内に掲示しているほか、事業所独自の長期目標及び短期目標を作成しており、ミーティング（5回/週）の時に職員が唱和している。その人らしく、その方の意思や能力が尊重できるような支援を目指して尽力している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	散歩に出かけ公園や道中であいさつを交わしている。町内会に加入し、今年度は組長をさせて頂いている。	町内会に加入し、町内会組長として町内清掃や、お祭り等の地域行事に参加している。利用者と一緒に回覧板を持って行ったり、散歩の時に近所の公園で、保育園の園児や地域住民と話をしたりしながら、利用者が地域とつながり、交流が継続できるように努力している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	入居の相談時困りごとについてアドバイスをしたり、運営推進会議などで質問や相談を受けお答えしている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	生活状況や運営状況を報告している。町内の行事や近況を教えて頂き、祭りの行事に参加している。	運営推進会議では、事業所の日頃の様子や状況等を詳細を報告し、意見交換を行っている。また、地域の情報を得ながら、サービス向上に活かしている。今後は、自治会長や民生委員等にも声をかけ、様々な方が参加できるように調整を行っている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	2ユニット化に向けて代表者と市町担当者が連絡を取り合っている。管理者も定期的に市町担当者に対し、利用者の様子や状況等を報告し相談している。	地域包括支援センターを通じて、市からの情報収集をおこなっている。市の担当者への問い合わせや話し合い等は、法人として専任の担当者を配置し、日頃から連絡を密にとりながら、協力関係を構築している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>マニュアルをもとに身体拘束の研修を行っている。日中は玄関の施錠をせず天気の良い日には解放している。ベッド柵はもちろんエプロンや「待って」の声掛けも身体拘束ととらえ対応している。</p>	<p>身体拘束排除のための社内研修を行っており、マニュアルを基に、具体例をあげて丁寧に指導している。利用者のやりたい気持ちを尊重し、言動等にも配慮しながら、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。事業所内では、言葉での拘束を含め、身体拘束は行われていない。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修で学んでいる。職員同士お互いに注意し虐待防止に取り組んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修や会議で学び、必要時上司に報告相談し支援につなげている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には重要事項説明書や契約書により説明を行っている。理解して頂いたうえで署名捺印を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置している。窓口も明確に掲示している。面会時などに意見や要望を聞くようにしている。要望がある場合には検討し対応している。</p>	<p>手紙や面会の時を利用し、利用者の近況報告や、意見及び要望を確認している。玄関に設置してある意見箱の鍵は、法人の代表者が管理しており、管理者会議で報告・検討され、事業所運営に反映されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>申し送りやミーティング時に意見を聞いている。必要時管理者会議で検討し取り組んでいる。</p>	<p>定期的（5回／週）にミーティングが行われているほか、管理者が随時職員から聞き取りを行っている。「ありがとう」の声掛けをお互いが意識して行い、運営に関するアイデアや意見等がしやすい職場環境の構築に尽力している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>研修の機会の提供やそのための勤務調整を行っている。リーダーや担当を任せ、やりがいや達成感が持てるようにしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>申し送りや報告、現場での様子により把握に努めている。社内外の研修に積極的に参加するよう働きかけている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>研修や勉強会に参加し交流している。他の事業所の取組などを聞き、参考にしている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に面接に伺い、困りごとなど細かく聞いている。入居後は関わりを多く持ち、少しでも早く慣れて頂けるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族の困りごとや意見を聞き、入居後の対応を検討している。入居後も面会時などに現状を話すとともに、良い関係が築けるよ努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人家族よりお話を聞きサービスを見極めている。必要時他のサービスを紹介することもしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>共に生活しているという思いで、一緒に食事の準備やかたづけ、掃除などを行っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時には自室でゆっくりして頂いている。ホームでの様子を話したり、相談しながら家族とともに支えていけるよう関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている。</p>	<p>希望に添って家族と外食や買い物に出かけて頂いている。</p>	<p>家族及び知人等が来訪しやすい雰囲気を作りながら、馴染みの人との良好な関係が継続できるように尽力している。また、散歩の際に近所の公園に立ち寄り、地域の人や保育園の園児等との交流を定期的に行いながら、この地域が馴染みの人や場になるよ支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	相性や性格を考慮しリビングの席を決めている。ソファは2席設置し気の合った利用者により、ゆっくりして頂いている。交流が難しい方には職員が間に入り対応している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後も相談や困りごとがあるとき対応している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で希望や思いを伺い、アセスメントし意向の把握に努め、プランにつなげている。困難な場合には表情や声などから思いをくみ取り対応している。	一人ひとりの思いや暮らし方の希望や意向等を、必ず複数の職員で何回かにわけて聞くことにより、正確な意向の把握に努めている。 日頃から利用者の言動を注視し、ミーティング等を活用しながら情報を共有し、環境・支援方法等を見直しながら支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の訪問や面接で本人や家族、関係者から情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の様子を生活日誌に記録し、職員間で情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人、家族、関係者より情報を収集しアセスメントし作成している。</p>	<p>ミーティング等を活用することにより、不規則な勤務体系の中でも、課題・意見・情報・本人の役割等を反映しやすい仕組みを構築している。その情報を基に、本人・家族等と話し合いを行い、チームで支援する体制作りに尽力している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>生活日誌に記録し職員間で共有している。一方的な記録にならないように、様子や言葉や対応の様子を細かく記録し、介護計画につなげている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>通院介助や入院時には面会に行き洗濯や必要時には食事介助などを行っている。その時の状況に合わせて対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の一員として、散歩や町内会行事に参加し交流している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居まえのかかりつけ医を継続希望される場合は、そのまま継続して頂いている。ない場合はホームドクターにお願いしている。入院や特別な治療が必要な場合は、適切な病院に紹介して頂いている。</p>	<p>利用者及び家族の意向を確認し、要望があれば協力医のほか、以前から通っていた病院への通院も支援している。協力医療機関の協力を得ながら、早い段階から適切な医療を受けることができるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>体調不良時や気づきは看護師に報告、相談している。必要時医師に連絡し対応する場合もある。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には面会に行き、状態や様子をうかがっている。地域連携室や看護師と連携を取りながら、できるだけ早期の退院ができるよう対応している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居前に重度化した場合や最期について家族に説明している。入居後状態変化時には、その都度家族や医師、スタッフと話し合い、意向を確認し支援している。</p>	<p>契約時に、終末期における利用者及び家族の希望を聞き取り、事業所で対応可能な部分に関して、説明及び確認している。 確認後も、主治医と積極的に連携し、定期的に終末期における希望を確認することで、状態や時間と共に変化する希望に対応している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>マニュアルを作成している。マニュアルをもとに研修を行い、実践につなげている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>火災通報装置を設置し年2回の避難訓練を行っている。水害に対しては早めの避難を心掛けている。運営推進会議で協力をお願いしている。</p>	<p>避難訓練を定期的実施し、消防署にも協力を依頼している。 近所の住民に、災害時の相互の協力を依頼し、地域との協力体制の構築に尽力している。</p>	<p>運営推進会議等を活用し、町内会や民生委員等にも、災害時の協力（相互）を依頼することにより、現在よりも強固な地域との協力体制の構築を図ることが期待される。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	その方に合った言葉使いで、やさしく丁寧を心掛けている。人前で失敗を指摘したり、知られたくない事を大声で話すことがないように職員同士注意している。	利用者の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応ができるよう、ミーティングや研修等を活用している。 日常業務の中で対応等に課題がある場合は、理念を基に早い段階で個別指導を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	飲みたいもの、食べたいもの、したい事など生活の中で選択し自分で考え決める機会をつくり、働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日課は決まっているが、その中でも体調や気持ちに合わせて過ごして頂けるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その日に着たい服を一緒に選んだり、外出時には帽子やスカーフ、お化粧品などでおしゃれして頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	行事やお誕生日には特別メニューにし、目でも楽しんで頂けるよう工夫している。毎日の食事では、皮むきや味付け、盛り付け、配膳、一緒にしている。洗い物も一緒にしている。	簡単な調理は利用者と一緒に、楽しみながら行っている。食材は宅配を利用し、時間の効率化を図っている。 誕生日会等の行事の時は、利用者も含めて皆で調理・片づけを行い、食事を楽しんで頂けるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量や水分量を個々の生活日誌に記録し把握に努めている。食欲や嚥下状態に合わせて、食べやすく工夫している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを行っている。うがいができない方や、自力でできない方にはハミングトを使用し介助している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンに添って誘導をしている。ベットサイドにポータブルトイレを置き、排泄の自立を心掛けている。夜間は可能な限り、声掛けを行いトイレに誘導している。</p>	<p>日誌の排泄状況の記入欄を利用し、適宜声掛けや誘導を行うことにより、排泄の自立に向けた支援がなされている。</p> <p>体調不良等が原因で、一時的にオムツを使用する場合も、期間を限定する等の工夫を行うことにより、早い段階での自立支援がなされている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>朝、牛乳を飲んで頂いたり、散歩や体操でしっかり体を動かして頂くなど、便秘の予防に努めている。排便チェック表に記録し、排便の状態を確認している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>日曜日以外は毎日入浴できる。最低でも週3回は入浴して頂いている。菖蒲湯や柚子湯など季節にあわせた湯を楽しんで頂いている。</p>	<p>生活習慣等を勘案し、夕方からの入浴を実施している。入浴方法に関しては、法人の研修等に参加し、利用者及び職員の負担を最小限にすることができるよう尽力している。</p> <p>季節に応じて、ゆず湯等を実施することで、入浴を楽しむことができるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>食後は体調に合わせて午睡して 頂いている。夜間の安眠につな がるように、昼間は散歩などの 活動を心掛けている。シーツ交 換や布団干し、居室の清掃を定 期的に行い、室温の調整に気を つけている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬の説明書や医療記録で確認し 把握している。臨時薬などは申 送りノートに記録し、全職員が 確認できるようにしている。体 調や症状の観察を行い、看護 師や医師に報告している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>得意なことやできる事を見つけ 、役割として一緒に行い、張り 合いのある毎日が遅れる様支 援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出か けられるように支援している。</p>	<p>体調や天候に合わせて散歩やド ライブに出かけている。家族と 一緒に買い物や食事に出かけ 楽しまれている。お弁当をつ くりお花見に出かけ、景色や お花やお弁当を楽しんで頂 いた。</p>	<p>天気の良い日には近くの公園に 散歩に行き、地域住民及び保 育園の園児等と交流している。 花見・ドライブ等の外出は、法 人の行事として行っており、地 域の行事や清掃活動等にも積 極的に参加している。地域の 人々及び法人の協力を得なが ら、外出支援を継続している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>預り金として家族より預かり、 出納帳を作成している。買い 物時には本人に支払いをして 頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話機の子機を使用し、居室でゆっくりお話しして頂いている。手紙を書かれる場合は、投函のお手伝いをしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>トイレや浴室はわかりやすいように表示している。不快なおいがこもらないように、換気に気を付けている。レースのカーテンを使用し、強い日差しが入らないように気を付けている。</p>	<p>季節を感じるができるよう、写真や飾り等を活用している。介護計画に利用者個人の役割を明記し、居心地の良い共有空間を、共につくるができるように配慮しながら支援している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>一人になれたり、仲よく話ができる様にソファやテーブルの位置を工夫している。テーブルの席は相性を考慮し決めている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自宅で使い慣れた家具を持参していただいている。鏡台や仏壇や写真を置き、居心地の良い安心できる居室づくりに心掛けている。</p>	<p>使い慣れた家具やぬいぐるみ等の持ち込みも可能である。仏壇等の大切にしていたものを活かしながら、利用者にとって居心地の良い居室になるように努力している。年を重ねるごとに、利用者に居心地よく過ごして頂けるように、レイアウトや動線等を工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>手すりやすべり止めを設置し、自力での移動を心掛けている。トイレや浴室はわかりやすく表示している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームよってきんさい矢野

作成日 平成30年4月25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策の強化	地域との相互協力ができる	運営推進会議で話し合う	1年
			災害時の安全な避難ができる	水害・地震時の非難訓練を強化する	1年
2	4	運営推進会議の出席者に変化がない	運営推進会議の出席者を多様化する	出入りのお店屋さん、町内会、生活課、近隣の方々に意見や思いを聴かせて頂く	1年
3					
4					
5					
6					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。